

第4学年 図画工作科学習指導案

日 時 平成24年10月4日(木)

児 童 第4学年

男子13名 女子12名 計25名

授業者 教諭 ○○ ○○

1. 題材名「墨のよさを味わおう！」

2. 題材の目標

- (1) 墨を使って描くことのおもしろさに気づき、意欲的に表現活動を楽しもうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 墨の持つ特徴を生かした活動を思いついたり、試したりすることができる。(発想や構想の能力)
- (3) 墨の濃淡の美しさ、墨を薄めない強さ、薄い墨のにじみの美しさなど墨のよさを効果的に表現することができる。(創造的な技能)
- (4) 友だちの作品のよさや、有名な水墨画の作品から墨の魅力や水墨画特有の表現を感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

3. 題材について

本題材は、第3学年及び第4学年の目標(1)「進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現の(2)のウ「表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。」とB鑑賞の(1)のイ「感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。」を主な内容として設定した物である。

題材として、墨色の濃淡の調子によって描かれた水墨画を取り入れる。水墨画は、墨の濃淡や線の太さの違い、かすれやにじみによって、表現の幅が広がる物である。書写の時間に字を書くために墨を使っている子どもたちにとっては、親しみやすい題材である。

まず、子どもたちそれぞれが墨を使って、思うままに線や模様、図を描く活動をする。その活動を通して、墨で絵を描くおもしろさを感じながら、さらに表現活動をしてみたいという気持ちにさせたい。

つぎに、雪舟の作品「秋冬山水図」を鑑賞することで、水墨画の魅力を感じるとともに、墨の濃淡や線の太さに違いによって遠近感を出したり、様々なものを表現できたりすることに気づかせたい。

そして、そこでの気づきを自分の作品に生かしながら、一つの絵を描く活動をする。

最後は、友だちの作品を鑑賞し合いながら、それぞれの作品のよさや表現の違いを感じ、認め合えるようにしたい。

題材を通して、友だちと関わりあいながら墨のよさに気づかせ、濃淡などの墨のよさを上手に利用して描けるようにさせたい。また、友だちの作品や有名な美術作品から、よさや面白さを感じ取ってほしいと考えた。

4. 児童の実態

《 省 略 》

5. 研究内容との関わり

(1) 自分の思いや考えを持たせる手立て

①「教材との出会いの工夫」

- ・有名な水墨画を大きく提示することで、興味を引き、学習に対する意欲を高める。
- ・字を書くことでしか使ったことのない墨で描かれた絵と出会うことで、表現活動に対する意欲を高める。

②「自分の考えを整理したりまとめたりするための手がかり」

- ・水墨画から見つけたことを、ワークシートの絵に書き込むことで、鑑賞を深める。
- ・項目だてたワークシートをもとに、自分で考える時間を確保する。
- ・子どもたちから出た意見を整理しながら板書する。
- ・本時でわかったことをふり返るとともに、次時において、どんな表現活動をしてみたいかを考える時間をとることで、本時で学んだことを次時でも生かせるようにする。

(2) 学びを深める思考の場の工夫

①「発達段階や学級の実態に応じた学習形態の工夫」

- ・考える時間を確保し、個人で考えた後、様々な形で交流することで、自分の考えに自信を持つとともに、いろいろな見方を知ることができるようにする。

②「話し方・聞き方を生かした説明力」

- ・「話し方、聞き方のスキル」に心がけながら、自分の考えを伝えたり、聞いたりすることで、いろいろな考え方や見方ができるようにする。

6. 指導計画（5時間扱い）

	学習のねらい	評価規準			
		関	発	技	鑑
第1時	墨を使って描くことのおもしろさに気づき、意欲的に楽しもうとする。 墨の持つ特徴を生かした活動を思いついたり、試したりすることができる。	○	○		
第2時 (本時)	有名な水墨画の作品から墨の魅力や水墨画特有の表現を感じ取ることができる。				○
第3時 第4時	墨の持つ特徴を生かした活動を思いついたり、試したりすることができる。 墨の濃淡の美しさ、墨を薄めない強さ、薄い墨のにじみの美しさなど墨のよさを効果的に表現することができる。		○	○	
第5時	友だちの作品のよさや、自分の作品との違いを感じ取ることができる。				○

7. 本時について

(1) 本時の目標

- ・有名な水墨画の作品から墨の魅力や水墨画特有の表現を感じ取ることができる。(鑑賞の技能)

(2) 本時の展開 (2/5時間目)

過程	○児童の活動 ◆教師の指導・支援	研究の視点及び留意点
つかむ 5分	<p>◆前時に墨を使っていろいろな絵を描いたことをふり返りながら、雪舟の「秋冬山水図」を提示する。</p> <p>○自分たちが描いた絵と雪舟の絵を比べたり、気づいたりしたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく上手。 ・昔っぽい。 ・見たことある。 ・これも墨だけで描いてある。 ・墨の色がうすいところがある。 <p>◆墨だけでも、工夫するとすごい絵を描けることに気づかせ、絵に注目させる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">水墨画をじっくり見て、墨のよさを味わおう！</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点1</p> <p>①有名な水墨画を大きく提示することで、興味を引き、学習に対する意欲を高める。</p>
考える・深める 33分	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「秋冬山水図」から見つけたことを書こう。</p> <p>○「秋冬山水図」から見つけたことを、ワークシートに書く。絵の部分を「○」で囲む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物が描いてある。 ・山の上に木が三本ある。 ・岩がある。 ・奥の方に木がたくさんある。 ・うすく山みたいなのがある。 <p>◆描かれている物を「○」で囲み、何が描かれているかを書くようにする。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>◆出された意見がわかりやすいように、整理しながら板書する。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点1</p> <p>①水墨画から見つけたことを、ワークシートの絵に書き込むことで、鑑賞を深める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点2</p> <p>①個人で考えた後、様々な形で交流することで、自分の考えに自信を持つとともに、いろいろな見方を知ることができるようにする。</p> <p>②「話し方、聞き方のスキル」に心がけながら、自分の考えを伝えたり、聞いたりすることで、いろいろな考え方や見方ができるようにする。</p>

	<p>いろいろな描き方を見つけよう。</p> <p>○いろいろな描き方の工夫に目を向けて、見つけたことを出し合う。</p> <p>◆必要に応じて、観点をしばって発問したり、ワークシートを利用したりして、見つけやすいようにする。</p> <p>◆出された意見がわかりやすいように、整理しながら板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近いところは、線が太くて、遠いところは、線が細い。 ・近くの岩は黒い。水みたいなのは、うすい。 ・木を描くときは、細く描いている。 ・山の色が、ガサガサしたように描かれている。 <p>○墨のよさをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒い墨だけで、絵を描くことができる。 ・近くの物は濃く、遠くの物はうすく描くといい。 ・近くの物は太く、遠くの物は細く描くといい。 ・岩のような固い物は、濃く描くといい。 ・木のような物は、細く描くといい。 	<p>視点1</p> <p>②項目だてたワークシートをもとに、自分で考える時間を確保する。</p> <p>②子どもたちから出た意見を整理しながら板書する。</p> <p>視点2</p> <p>②「話し方、聞き方のスキル」に心がけながら、自分の考えを伝えたり、聞いたりすることで、いろいろな考え方や見方ができるようにする。</p>
<p>まとめる7分</p>	<p>○本時のふり返りをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墨の濃淡で、近くの物や遠くの物がかけることがわかった。 ・黒い墨だけど、いろいろな絵がかけることがわかった。 ・墨で絵を描くのが楽しみ。 ・はやく水をまぜながらやってみたい。 <p>◆本時でわかったことだけでなく、次時でやってみたいことなども書かせるようにする。</p>	<p>視点1</p> <p>②どんな表現活動をしてみたいかを考える時間をとることで、本時で学んだことを次時でも生かせるようにする。</p>

(3) 評価基準

A	B
<p>水墨画の作品から、墨で描くよさや水墨画の表現方法を見つけ、自分の作品に生かそうとしている。</p>	<p>水墨画の作品から、墨で描くよさや水墨画の表現方法を見つけることができる。</p>